
クールビューティ

夏目洋介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クールビューティ

【コード】

N9142N

【作者名】

夏目洋介

【あらすじ】

女性には強い部分と弱い部分があると思う。どちらがいい悪いじゃなく、どちらもが必要であり、素敵だと思いますよ。

「他に好きな人ができたんだ」

昨日、8年間付き合った彼にこう言われた。

「いいよ、別れよ。それじゃ」

あっさりと答え、その後の彼のセリフも聞こえないふりで、私は家に着いた。

冷蔵庫からビールを取り出し、ソファに座りこむ。

こんな日が来ても驚かないような二人だったと思う。

付き合いが長すぎたのだ。

恋愛に必要な「刺激」が二人にはまったくと言っていいほど、無かった。

立場上振られた方になるが、あっさりとそれを受けるあたり、私は大人だなあと思う。

クールじゃん？

アルコールのせいか、少しテンションがあがってきて、昔からの友達に電話を試してみた。

「さっきあいつと別れたよ」とおどけて報告してみるも、彼女が
ら出た言葉は、

「大丈夫？無理しないでね」

だった。

電話を切り、すっかり汗をかいたビールの缶をテーブルに置く。

ふと近くの鏡を見て、さっきの彼の最後のセリフを思い出した。

「お前、大丈夫か？」

…みんな、私のこと、私よりよく分かってるなあ…

汗をかいた缶みたいな自分の顔をふこうと、ティッシュ箱に手を突
つ込んだまま、

私は…

動けなくなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9142n/>

クールビューティ

2010年10月10日16時03分発行